

平成 28 年 3 月期 第 1 四半期カンファレンスコール質疑応答（要約）

2015 年 8 月 6 日

Q. 売上と粗利の 1Q 計画に対する進捗は？

A. 売上はほぼ計画通り、粗利は計画以上の進捗です。

Q. 粗利が改善した理由は？製品ミックスの改善はしているものの、DPC 病院での低薬価品の伸びは継続しているのか？

A. 伸びが継続していることは事実ですが、高薬価品の伸びが低薬価品の伸びを上回っており、粗利改善に寄与しています。

Q. 骨太方針で示された「2017 年央に 70%以上」のジェネリックシェア目標に対して、現時点で検討している対応策は？

A. 安定供給責任を果たすことが最も重要であり、設備投資を前倒しで進めていく予定です。

Q. 現在の中期経営計画の見直し時期は？

A. 来年 5 月の本決算発表時が現実的だと考えています。

Q. 今後、投資額の増加が想定されるが、資金調達の手段は？

A. 発行体格付け A- を取得しており、手段は多様化しました。追加の設備投資の資金調達については、エクイティに影響を与える調達は考えていません。

Q. 2Q 以降に増加が見込まれる販管費の内容は？

A. 売上 2,000 億円に向けて、現在の中期経営計画で掲げた諸施策を実行する上で必要な費用であり、2Q 以降に発生する予定です。5 月の決算発表時点で計画に織り込んでいたものであり、新規に発生する費用ではありません。

Q. 本年 11 月に開発センターが新たに稼働することで、新たな経費増加要因になるか？

A. 元々織り込んでおり、大幅な経費増加にはならない見込みです。

以上